

令和 6 年度 【 学園研究費助成金 < B > 】 研究成果報告書

学部名 人間関係学部

フリガナ オオカツ シヅホ
氏名 大勝 志津穂

研究期間 令和 6 年度

研究課題名 教員養成における女性学・ジェンダー関連科目の実施について：保健体育に着目して

研究組織

	氏名	学部	職位
研究代表者	大勝 志津穂	人間関係学部	教授
分担者	藤原 直子	人間関係学部	教授
協力者	來田 享子	中京大学スポーツ科学部	教授
	安江 あ也香	中京大学大学院	実験実習助手

1. 本研究開始の背景や目的等 (200 字～300 字程度で記述)

これまで高等教育機関における女性学・ジェンダー関連科目の必要性については、様々な調査を通じて論じられてきた。2016 年文科省による「学校における性同一性障害に係る対応に関する現況調査」によって、学校現場での体育や水泳、更衣における多様な性への配慮の必要性が明示され、体育授業における男女共修・共習が進められる一方、スポーツ競技面では性別二元論が維持され、多様な性への対応が求められる保健体育教員にはジェンダーに関する知識の習得がより求められるようになってきている。しかしながら先行研究を概観すると、養護教諭や家庭科教員を対象とした研究はあるものの、保健体育教員に着目した研究はほとんど見られない。そこで本研究では、保健体育教員を養成する大学における女性学・ジェンダー関連科目の実施状況を把握する。

2. 研究の推進方策 (300 字程度で記述)

本研究では、保健体育教員養成課程を持つ全国の大学を対象に、各大学での女性学・ジェンダー論に関連する科目の実施状況を明らかにすることを目的とした。目的を達成するために、各大学の開講科目すべてに対して、女性学・ジェンダー論関連科目の実施状況をシラバスの内容から検討した。近年、各大学のシラバス公開が進んでいるため、アンケート調査を実施する前に、シラバス検索により全大学の把握につながると考えた。各大学の HP からシラバス検索を行い、科目名に「女性」「ジェンダー」が含まれるものと、「女性」「ジェンダー」が各回の授業内容に含まれる科目名をピックアップし、どのような科目で、どのような内容が実施されているのかを検討した。

3. 研究成果の概要 (600 字～800 字程度で記述)

本研究では、保健体育教員免許を取得できる学部・学科におけるジェンダー関連科目の実施状況を明らかにすることを目的とした。対象となった学部・学科は 229 であった。対象となった学部・学科の 2023 年度に開講されているシラバスを検索し、「ジェンダー」「女性」を冠する

科目の設置状況、各回授業タイトルに「ジェンダー」「女性」の記載がある科目の設置状況と授業タイトルの傾向を分析した。その結果、以下のことが明らかとなった。

- 全開講科目のうち、「ジェンダー」「女性」を冠する科目を設置していた学科は 98 (42.8%) であった。これら科目の中で、「スポーツ/身体/健康」に関する内容を扱う授業が設置されていた学科は 40 (17.5%) であった。
- 全開講科目のうち、授業タイトルに「ジェンダー」「女性」を含む科目を設置していた学科は 209 (91.3%) であった。
- 体育・スポーツ関連科目のうち、授業タイトルに「ジェンダー」「女性」を含む科目を設置していた学科は 176 (76.9%) であり、全開講科目の割合より低かった。また、「ジェンダー」のみの場合は 57.7%、「女性」のみの場合は 65.5%と「女性」を含む科目の設置率の方が高かった。
- 授業タイトルに「ジェンダー」「女性」を含む体育・スポーツ関連科目には違いがみられ、「ジェンダー」は人文・社会科学系、「女性」は自然科学系の科目であった。
- 「ジェンダー」「女性」を含む体育・スポーツ関連科目の授業タイトルを分類すると、「ジェンダー」では社会的・文化的な視点からの内容が取り上げられ、「女性」ではトレーニングやコーチング、健康や障害、運動の方法に関する内容が取り上げられていた。

本研究の結果、専門科目でのジェンダー関連科目の設置状況は充分とは言い難い状況であった。今後、学校現場やスポーツ現場に立つ可能性のある学生の教育として、専門領域でジェンダーに関連した科目を設置することが必要である。

4. キーワード (本研究のキーワードを1項目以上8項目以内で記載)

①ジェンダー	②女性	③保健体育教員養成大学	④体育・スポーツ
⑤講義	⑥シラバス	⑦	⑧

5. 研究成果及び今後の展望 (公開した研究成果、今後の研究成果公開予定・方法等について記載すること。既に公開したものについては次の通り記載すること。著書は、著者名、書名、頁数、発行年月日、出版社名を記載。論文は、著書名、題名、掲載誌名、発行年、巻・号・頁を記載。学会発表は発表者名、発表標題、学会名、発表年月日を記載。著者名、発表者名が多い場合には主な者を記載し、他〇名等で省略可。発表数が多い場合には代表的なもののみ数件を記載。)

<掲載決定通知>

著者：大勝志津穂、藤原直子、來田享子

論文名：教員養成課程における「ジェンダー」「女性」を含む科目の設置状況-中学校保健体育教員養成課程をもつ学科に着目して-

掲載誌：スポーツとジェンダー研究 Vol.23

刊行予定：2025年3月末

<学会発表>

発表者名：大勝志津穂、藤原直子、來田享子

発表標題：保健体育教員養成課程をもつ学部・学科のジェンダー関連科目の設置について
-科目名及び授業タイトルに着目して-

学会名：日本スポーツとジェンダー学会第23回大会

発表年月：2024年7月7日

<今後の展望>

本研究では、保健体育教員免許が取得できる大学の女性学・ジェンダー論関連科目の実施状

況の把握を目指した。計画では、シラバス検索とともに大学へのアンケート調査を予定していたが、シラバス検索の内容での研究発表において指摘を受け、その内容を再検証する必要性が出たため、今年度はアンケート調査を実施するに至らなかった。また、論文を投稿することによって新たな課題が出た。今後は、これら課題をクリアしていくとともに、担当教員に対するアンケート調査を実施し、保健体育教員養成課程で学ぶ学生に対し、どのような学びが必要なのかを検討していきたい。